

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

1. 活動のテーマ

<テーマ>

身近な音に触れる

<テーマの設定理由>

一番身近な楽器であり子どもたちが歌や音楽に興味があったため

2. 活動スケジュール

①ピアノの伴奏とともに歌をうたう。

②ピアノに合わせて手をたたいて音を鳴らしてみる。

③リトミックに参加し、ピアノの音階を知る。ピアノの音・音階に合わせて、様々な動物や乗り物に返信し表現遊びを楽しむ。

④楽器を（鈴）触る

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

ピアノ

鈴の用意

保育者がカプセルの中にビーズを入れ鈴を作る。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

ピアノを購入し音階に合わせて動物の模倣あそびをする。

自由に体を動かしたり声を出したりしながら表現遊びを楽しむ。

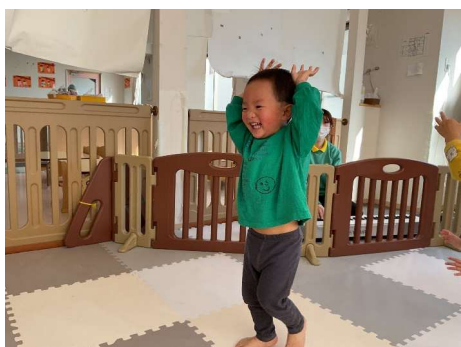
保育士によるピアノの伴奏、フルート演奏に合わせて手作り鈴を鳴らし、音の違いに気づいたり、一緒に演奏する楽しさを感じたりする。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

リトミック…「いろんなおとがなるね!」「つぎはひくいおとかな、たかーいおとかな」という声が聞けた。

動物の模倣あそびやピアノの音でジャンプ、歩く、走るなど自分で聞き分けて行動・表現することができた。

<写真>



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

新しいピアノは音階が広がったためたくさんの音を演奏することができ、子どもたちの音への興味にもつながったので良かった。リトミックしようと声をかけると大喜びする子どもたち、回数を重ねることにより音で判断し行動することができるようになった。そして子どもたちだけではなく保育者もピアノが得意な先生が常勤、非常勤問わず活躍する場もでき